

休日当番病・医院

4月7日(日)

- ◆内科 夜間・休日急病センター
旭町 32-0099
- ◆外科 苦小牧消化器外科
北栄町 51-6655
- ◆歯科 田村歯科医院
日吉町 72-2308

診療時間：内科＝9時～翌朝7時、外科＝9時～17時、歯科＝9時～12時、本誌は毎週火曜日に編集のため、その後に休日当番医が変更になってもお知らせすることはできません。ご利用されるときには、あらかじめ電話でお確かめください。



法律相談



4月25日(木)
遠藤正大弁護士

(定員になり次第締め切ります)
日本共産党苦小牧地区委員会
苦小牧市見山町2-2-6 申込 56-5002

しんぶん赤旗読者のための
親身な相談で定評

日本共産党

民主苦小牧

発行 日本共産党苦小牧地区委員会

苦小牧市見山町2丁目2番6号 電話 56-5002 fax 56-5086
日本共産党のホームページ <http://www.jcp.or.jp>
苦小牧市議会ホームページ <http://toma-jcp.sakura.ne.jp/>
eメールアドレス commun@rose.ocn.ne.jp

市議会予算審議

原・富岡両議員 介護訪問報酬改定を批判

事業者に打撃 現場に寄りそう支援を



小牧市の場合、訪問回数が月約500回が多く、圧倒的に赤字運営がほとんどで、ますます厳しくなる。「人材不足もあり、処遇の低さもある。一人6000円の引き上げがされるが、常勤の給料は全産業平均を月6万円も下回り、桁がちがう。これでは、若い人の介護への参入が増えていかない。根本改善に距離がある」とたがしました。

◆倒産廃業に追い込むな

富岡議員 見直し要望

富岡委員は、「訪問介護の基本報酬の引き下げはとんでもない改定だ。実際約4割の事業所が倒産・廃業になると言われている。人手不足で苦しく、深刻な状況であり、政府に抗議してほしい。政府が手を差し伸べて助けなければならぬのに、ひどいやり方だ」と指摘しました。

山本副市長は、「基本報酬引き下げの根拠には、全体を反映していないところもある。加算を整備しているというが事務的には煩雑でハードルが高く、小規模事業者は大変だ。加算をとらないと赤字

後期医療保険料の負担増重い

富岡議員 撤回し高齢者の安心求める

富岡委員は、企業会計予算審議で、後期高齢者医療にかかり質疑しました。



75歳以上の医療保険を対象とする北海道後期高齢者医療広域連合協議会は、2024年度・25年度の保険料を5104円増の9万9910円、軽減後は4400円増の7万6

838円と大幅な負担増を示しました。

富岡委員は、「保険料の値上げは天井知らずで、高齢者にとっては値上げしかない流れになっており、そもそも年齢で差別する制度は世界にもない。低所得者が大半の制度でもあり、こんな制度はおかしいと広域連合に強く求めてほしい」とたがしました。

山本副市長は、「負担増については認識している。現役世代の負担も増えており、公平かつ持続可能な社会を実現するために全世代で支える制度にするよう国に要望しており、高齢者の健康福祉の確保に努めたい」「時代の流れで、少子高齢化で高齢者人口が増え、今の制度に落ち着いてきている。低所得の高齢者が困る医療制度であつてはならない。高齢者が安心して利用できる制度にすべきだと考えている」と答えました。

富岡委員は、「値上げの中身を見ると、国が580億円も補助を削っている。所得の少ない人に血も涙もない制度だ。制度の撤回を求め、高齢者が安心して暮らせるよう制度設計するよう要望してほしい」と迫りました。

マイナカード強制になる
健康保険証の
廃止 撤回を
日本共産党

◆日本共産党は、1世紀の歴史に学び、新たな1世紀に向かいます。戦争させない くらしに希望を

裏金に怒り 暮らし優先政治に

畠山・立野両氏

登別・室蘭で双方向交流

井氏は市民への説明も謝罪もない」として、明るい登別市政を進める会で公開質問状の提出を決めた」と報告しました。

畠山さんは、日本共産党の道委員会と道議団で、自民党道連や道内選出国会議員の政治資金収支報告書を調査し、虚偽記載が疑われる内容や、会場定員を大きく超えるパーティー券の販売が発覚したと報告。自民党政治が暮らしの土台を壊してきたと指摘し、「軍事費に43兆円も注ぐので

はなく、病院、公共交通、介護、教育などのために、税金をつかう政治に変えましよう」と訴えました。

立野さんは、テレビ番組で黒柳徹子さんが「いま何が必要か?」とインタビューされ、「子どもたちがきちんと食事ができて生きていける。そういう平和がほしい。そのためには戦争のない平和がほしい」と答えていたことに感銘を受けたと紹介。「平和のために命がけでがんばってきた日本共産党がいまこそ底力を発揮すべき時です。暮らしを守り、平和をつくるために一歩でも二歩でも協力してほしい」と共産党への入党を呼びかけました。

日本共産党を語るつ



日本共産党の畠山和也元衆院議員は立野広志道9区国政対策委員長とともに3月22日、登別と室蘭の両市でつどいに参加しました。

参加者からの質問に答える双方向で交流しました。両市がある北海道9区は、自民党の裏金事件で金額がワースト5に入る堀井学衆院議員の地元でもあり、金権腐敗政治について話題になりました。

登別市では、金澤則男、佐々木くみ子両市議が同席。「堀

団結して平和と民主主義実現

5月1日(水)メーデー集会 若草中央公園

第95回メーデー苦小牧地区集会が5月1日、若草町の中央公園で開かれます。雨天の場合は、末広町の労働福祉センターで実施する予定です。

今年の基本スローガンは、「働くものの団結と権利を守り、平和と民主主義を実現していく日本をめざそう」。苦小牧独自のスローガンは、「カジノ誘致を断念せよ」「苦小牧港の軍事利用反対」です。

集会は、うたこえサークル「わたぼうし」の歌声でオープニングし、午後2時30分

から、30分程度のコースとなります。

実行委員会では、たたかいのなかにも和やかなメーデーとなるよう創意を発揮した「みんなで創るメーデー」として成功をめざしています。

生業と暮らしを守るためにインボイス制度廃止を日本共産党

年金問題学習会

年金はどうなるのか?

講師 加藤 丈晴 弁護士

●4月13日(土) 午後2時

●苦小牧市民会館 101号室

年金者組合苦小牧支部/苦小牧地区労連

連絡先: 佐々木さん TEL 090-2072-7491

ほんの紹介

- ▼5月1日(水)
- 2時 オープニング
- 2時30分 開会
- 3時30分 パレード出発
- ▼会場 若草町中央公園
- ▼雨天時 労働福祉センター
- ▼連絡先 苦小牧地区労連内
- 電話 33・3285

◆前衛4月臨時増刊 日本共産党第29回大会特集(日本共産党出版局) 1100円(税込) 強く大きな党をつくり、希望ある日本への道を示す歴史的党大会の全記録を収録。感動の発言全文を掲載。



経済再生シンポであいさつ(3月31日)

紙智子(かみ・ともこ) 日本共産党参議院議員

「経済と聞いて難しいかと思っただけで、とてもわかりやすく勉強になりました。来て良かったです」と話されました。今後の力にしていましよう。

国会かけある記 紙ともこです



北海道の経済 「再生」考える

雪解けがすすむ札幌市内で行われた北海道の経済「再生」を考えるシンポジウムに参加しました。300人を大幅に超える参加者で椅子を増やすほどの大盛況ぶりです。期待のあらわれではないかと思いました。

第1部で、大門実紀史前参院議員が、日本共産党の「経済再生プラン」が掲げる3つの柱について、賃金の大幅引き上げ、社会保障費の充実と消費税5%への減税、農業予算を増やして食料自給率の向上をはかるなど、「失われた30年」の分析と、それにかみ合った実現可能な共産党の政策を語られました。

第2部では、不動産・建築士事務所の大石清司さん、農業分野から酪農家で観光牧場を経営する金川幹夫さん、労働分野から札幌地区労連の岩崎唯さんの報告。その後はフロアーから活発に意見が出されました。

真下紀子道議会議員団長は、北海道知事の裏金問題を、共産党の調査をもとにただし、日本共産党の存在感に道民の注目が集まっていること、「暮らしや農業を守るのではなく、半導体など特定企業の特別扱い」などの北海道の問題点を示し、希望のもてる北海道経済を切りひらこうと呼びかけました。